



桑名市教育委員会イメージ
キャラクター「くわっほ」

かわら版

NO. 22

多度地区小中一貫校整備事業

第4回開校準備委員会開催『新しい学校の校種は義務教育学校』で

コロナ禍のため延期されていた第4回開校準備委員会を3月26日に開催いたしました。今年度、開校準備委員会では『施設一体型の小中一貫校の校種について』協議していただきました。委員会としては、『義務教育学校としての開校が望ましい』との提言をまとめていただき、これまで検討してきた内容とともに提言書として、鈴木委員長より教育長に手渡されました。

多度地区小中一貫校整備事業 施設一体型小中一貫校の校種について（提言）

令和3年2月に策定された多度地区小中一貫校整備事業「基本構想・基本計画」に沿って、令和3年7月17日付で多度地区小中一貫校整備事業開校準備委員会（以下「委員会」という）を設置し、多度地区で新たに建設される施設一体型小中一貫校の校種について議論を重ねてきました。委員会は、4回開催し、先進校の実践事例をもとに本事業の基本コンセプトである「つながりではなくくむ子どもたちの学びと育ち」を実現する学校にふさわしい校種について検討を行いました。

委員会における各委員の意見をもとに以下のように提言を取りまとめました。

【提言】

義務教育学校としての開校について

多度地区で開校される施設一体型の小中一貫校は、「つながりではなくくむ9年間の子どもの学びと育ち」を実現するために、校長が1人で教職員も1つの組織となり、同じ目標に向かって教育実践できる義務教育学校の体制が望ましいと考える。

なお、開校準備委員会での委員の皆様のご意見の概要は以下の通りです。

A グループ

- ・結論としては義務教育学校で良いのではないかと。
- ・9年間の壁をなくすこと・9年間を通してみていくことで、学力や生活の面においても有効。
- ・情報の共有がしやすいのがメリット。
- ・義務教育学校のメリット・デメリットをもう一度丁寧に説明して欲しい。
- ・デメリットに対してどのような手立てをとっていくかをセットで考えていくと良い。
- ・人的な配置の充実は、軌道に乗るまでは加配をたくさんつけてもらいたい。
- ・義務教育学校でいくのであれば、年度の初めから開校すべきである。



B グループ

- ・検討のまとめの内容は、話し合いの中で出てきた意見だけであり、今後の方向性、今後どうしていくのかという中身とはなっていない。
- ・義務教育学校にしていくのであれば、現場の不安もあるので、教職員の理解も図りながら進めていくべきである。



C グループ

- ・義務教育学校が良いのではないかという結論。あくまでも建物ができてからどうするかという前提。
- ・指揮系統が1つであることで教員が動きやすくなり、子どもにも良い影響が出ると思われる。
- ・ツートップであることには不安要素がある。これまでやったことがない事なので、人選は大切。
- ・新しい学校について知ってもらう中で、働きたい教員や地域に引っ越したい人が出てくると良い。



鈴木賢一 委員長

<委員長の講評>

今年度最終の委員会として懸案の校種について議論をし、校長1人体制の義務教育学校とすることを決議しました。9年間通う子どもたちのために、4-3-2の学年段階の区切りを意識した施設整備を進めることも決定しており、新しい学校の姿がはっきりしました。子ども達に託された新しい学校へのアイデアも披露され、期待感がおおいに高まりました。一方、令和7年4月の新校舎等での開校が困難となったことへの対応に不満と不安の声が上がりました。多くの関係者を巻き込むプロジェクトですから、まだまだ多くの困難が待ち受けています。反省すべき点は直ちに修正し、事業の成功に向けて今こそ一丸となって乗り切ることをお願いいたします。

子どもたちによる提案書

学校施設について、学校の主役である子どもたちからもアイデアを募集して施設設計に取り入れていきたいという思いから、冬休みを利用して、子どもたちにアイデアを募集しました。各校のご協力もあり、任意ではありましたが、対象児童生徒 990 人のうち、673 通のアイデアが集まりました。

まず、事務局で一次審査を行い、実現可能部門 13 点と夢部門 9 点を選出しました。中には、類似したアイデアもありましたが、表現方法の出来栄や提案者の学年を考慮して、代表作の一点を選出いたしました。開校準備委員会で最終審査を行い、

各部門最優秀賞と優秀賞を決めていただきました。柔軟な発想から生まれたアイデア



に、委員の皆様も笑顔で審査されておりました。最優秀賞・優秀賞を決定しましたが、夢部門は最優秀賞が同点で 2 点となりました。新年度、受賞者の学校にて表彰伝達させていただきます。

なお、子どもたちの思いを組んだ設計につながるように、一次審査で選出された 22 点はすべて設計施工業者に資料として提示する予定をしています。



最優秀賞
実現可能部門



あそびの森

夢部門
(同点)



ロープウェイ



天文室

多度地区小中一貫校の開校について

かわら版 No. 21 のサブタイトル「段階的に開校します」という内容に関して、開校準備委員会の冒頭、委員の皆様から次のようなご意見をいただきました。

- ・令和 7 年 4 月開校にこだわらず、新校舎の完成を待ってからの開校でいいのではないか。
- ・新校舎完成まで既存の施設を利用するとあったが、多度中小学校に一旦入ってから新校舎に移るという 2 度の引っ越しは必要ない。
- ・新たな学校としてスタートするのであれば、開校が 1 年遅れたとしても、みんなで同じスタートを切れるようにしてほしい。 等

また、3 月に行った地域保護者との懇話会では、

- ・子どもたちは、新しい校舎で勉強できることを楽しみにしている。
- ・多度中小学校に一旦入らなくてもいいように、子どもたちのためにも、一日も早く新校舎が完成するように頑張ってください。
- ・1 クラスでは刺激が少ないと思う。遅れるのであれば、小規模化を解消する策として、みんなで多度中小学校に入ることも構わない。 等

という激励の声もいただいております。

現段階で、事業者への公募ができておらず、新校舎の完成時期が不明確となっているため、開校を心待ちにしている子どもたちのためにも、令和 7 年 4 月の開校を目標に様々な可能性を見据えて準備を進めております。かわら版 (No. 21) に、『段階的開校も視野に入れて事業を進める』とあるように、今後、新校舎の完成時期等が明らかになってきましたら、改めて開校準備委員会等で、子どもたちにとってより良い開校の方法を協議検討していきます。引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。

桑名市ホームページ：

子育て教育－学校教育－教育委員会－教育総合（計画・統計等）
－多度地区小中一貫校整備事業
<https://www.city.kuwana.lg.jp/kosodatekyouiku/school/kyouikuinkai/kyouikusougou/tado.html>

